

地域別重点施策に係る施策取組状況評価

【相双地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
多彩な地域資源の連携による広域交流圏の形成と人づくり 特色ある地域資源の有機的な連携により、魅力ある観光やスポーツ交流の促進を通じた交流人口の拡大や人づくりを進めます。	① 相馬野馬追などの伝統文化や、電源立地地域対策交付金により整備された交流施設など電源地域の資源を生かした首都圏を始めとした都市との交流、浜通り地方の連携による広域観光ルートの形成などにより、周遊・滞在型観光を推進します。	◆周遊・滞在型観光推進のための、関係機関・団体との総合的な推進体制の整備。 ◆広域観光ルートの開発や、地域の観光資源を分かりやすく案内するための取組み。 ◆常磐自動車道延伸を見据えた、地域による観光客の受け入れの取組み。	◆関係機関・団体で意見交換を行うなど、周遊・滞在型観光の推進に関する取組みを強化していく。 ◆各市町村の地域資源を結ぶ広域観光ルートの開発や地域で統一した案内サインの設置について検討をする。 ◆観光PRや受入体制の強化、産業の6次化推進による特産品開発等の地域の取組みを支援する。
	② Jヴィレッジなどスポーツ施設の有機的な連携により、施設の集積を生かしたスポーツ交流拠点地域の形成を促進し、交流人口の拡大を図ります。	◆スポーツ施設の利用人口の拡大に向けたPRや合宿誘致等。	◆管内スポーツ施設を活用した旅行商品の開発等を図る。
	③ 常磐自動車道のサービスエリアの設置促進や交流施設整備への支援などに関係機関が一体となって取り組み、延伸の波及効果を生かした地域振興を図ります。	◆常磐自動車道の延伸による波及効果を生かした地域振興を図る取組み。	◆サービスエリアの有効活用に向けた講座等を実施する。
	④ 双葉地区教育構想に基づき、(財)日本サッカー協会などの関係機関と連携しながら、国際人として社会をリードする人づくりを進めます。	◆双葉地区教育構想の理解啓発の推進。 ◆関係団体との連携による中高一貫教育のさらなる充実。	◆双葉地区教育構想の趣旨の周知を図る。 ◆中高一貫教育において、JFAアカデミー福島等関係機関との連携強化を一層進める。
電源立地地域の特性や物流基盤の整備効果を生かした産業の集積 電源立地地域の特性や物流基盤を生かした産業の集積と振興を図るとともに、産業人材の育成・確保を図ります。	⑤ 高度な技術を生かした輸送用機械、半導体関連産業や、今後発展が見込まれる太陽光発電など環境・エネルギー産業等について、電源立地地域における優遇制度（電気料金の軽減等）や物流基盤の整備効果を生かした新規立地の拡大、立地企業の振興などにより集積を促進し、地域経済の活性化や雇用の拡大を図ります。また、積極的なポートセールスにより相馬港の物流拠点としての機能を強化し、宮城・山形両県南部を含む広域経済圏の確立を図ります。	◆県内企業への各種補助制度の周知。 ◆相馬港の利用拡大を図るため、ポートセールスの効果的な実施。	◆電源立地地域における優遇制度（電気料金の軽減等）等を生かした新規立地の拡大を図る。 ◆各種補助制度等の支援により、立地企業の振興を図り、地域経済の活性化や雇用の拡大を図る。 ◆貨物量の更なる増加を目指し、3号ふ頭の利用を広く発信していく。
	⑥ テクノアカデミー浜における地域産業のニーズに対応できる人材育成、技術の維持・発展や、専門高校の活性化、在職者教育の充実などについて産学官連携により推進し、産業集積の前提である産業人材の育成・確保を図ります。	◆相双技塾の効果的な実施に向け、地域のニーズを踏まえた講座の構築。 ◆高校生人口の減少により、学生の確保に向けた積極的な募集活動。 ◆地域の産業人材の育成のため、企業在職者のための短期間の講座の充実。	◆相双技塾におけるアンケート調査の実施や、企業訪問等によりニーズ調査を行い、専門家と協議しながら講座を構築していく。 ◆卒業生の就職率100%を目標に、企業が求める人材育成とテクノアカデミー浜の魅力向上に努める。 ◆在職者向けの訓練を充実させ、産業人材の育成・確保を図る。
地域特性を生かした農林水産業などの振興と地域活性化 温暖な気候を生かした農業の振興や良好な漁場を生かした水産業の振興を図るとともに、豊かな地域資源を生かした地域活性化を図ります。	⑦ 冬季温暖で多日照などの立地条件を生かし、野菜や花きなどの産地化を図るとともに、有機栽培、特別栽培などの環境と共生する農業への転換を進めます。また、水産試験場や水産種苗研究所の調査・研究などを基に、資源管理型漁業やつくり育てる漁業を展開することにより水産資源の持続的利用を進め、水産業の振興を図ります。	◆農業の担い手の減少や農産物価格の低迷等による、農家の経営安定等の支援。 ◆資源管理体制の充実と管理手法の向上。	◆消費者のニーズに対応した産地づくりや生産体制の強化や付加価値のある商品開発を支援する。 ◆全県的な漁業者協議会の取組みを支援するとともに、資源管理内容の検証、新たな対象種の検討を進める。
	⑧ 農林水産業と商工業との密接な連携により、生産と加工、販売、流通手法などを効果的に組み合わせ、地元農林水産物を活用した魅力ある商品づくりや販路の拡大を進めるなど、相乗効果による地域産業の発展を図ります。	◆人材育成・確保と経営体質の強化。 ◆地域産業の6次化に向けた地域ネットワーク力の強化と地域の絆づくり。	◆地域産業の6次化を目指す新たな担い手を育成・確保するとともに、キーパーソンとなる人材等を養成する。 ◆農林漁業者と商工業者への支援等により、売れる商品開発や新たなビジネスの創出を図る取組みを支援する。
	⑨ 阿武隈の山並みを始めとする豊かな自然や伝統文化などの地域資源の継承、地域コミュニティの再生・活性化などにより、過疎・中山間地域の振興を図ります。また、松川浦や太平洋に注ぐ河川の水質保全、水産資源の保護を図るため、植林など森林ボランティアが行う自然環境保全活動等の地域づくりを支援します。	◆伝統芸能の継承等について、少子高齢化による人材不足。	◆部局間の連携を密にし、過疎・中山間地域の振興に向けた実効性のある計画を立案する。

【相双地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
<p>安全で安心な暮らしや交流を支える基盤の整備・充実</p> <p>安心して生活が送れるよう、原子力防災対策を含む地域防災体制の整備や生活環境基盤の充実を図るとともに、幹線交通網や港湾などの社会基盤の整備を進めます。</p>	<p>⑩ 安全で安心できる医療が受けられるよう、医療機関の連携を始めとする地域医療提供体制の充実・強化を図るとともに、生涯を通じた健康づくりや生活衛生対策を推進します。また、子どもから高齢者まで誰もが安心して健やかに暮らせるために、子育て支援や高齢者、障がい者福祉の充実を図ります。</p>	<p>◆各種がん検診、特定健康検査の受診率や特定保健指導の利用率の伸び悩み。</p>	<p>◆新たな健診（検診）制度に関する周知を徹底するとともに、健診（検診）体制を整備する。</p>
	<p>⑪ 原子力防災対策の充実・強化への取組みや事業者と締結している安全確保協定の厳正な運用を行うとともに、環境放射線常時監視結果の迅速な提供に努めます。また、地域防災や県土保全の観点から、高潮・波浪、浸食などの被害から海岸を保護し、快適で潤いのある海岸環境の保全と創出を図るため、人工リーフや消波堤などの海岸保全施設の整備を進めます。</p>	<p>◆通報連絡体制、環境放射線モニタリング体制及び対策拠点施設の維持。</p>	<p>◆原子力防災訓練等へ参画し、関係機関との連携・防災対策の確立、職員の防災技術の向上、さらにオフサイトセンター等の維持管理に努める。</p>
	<p>⑫ 常磐自動車道や東北中央自動車道、阿武隈東道路などの高速交通体系、国道114号、国道288号、県道広野小高線（浜街道）などの幹線道路、阿武隈山間地域における生活道路や、取扱貨物の増大等に対応した相馬港の港湾施設など、社会基盤の整備を進めます。</p>	<p>◆相馬港が重点港湾とならなかったことにより、今後、直轄新規事業の着手が困難。 ◆相馬港3号ふ頭の供用開始に向け、相馬港の利用増加。</p>	<p>◆相馬港が計画どおりの整備を進められるよう、国に対して要望をしていく。 ◆貨物量の更なる増加を目指し、3号ふ頭の利用を広く発信していく。</p>